

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	美術教育の普及・体験事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	来館者	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
美術教育を通して、気軽に美術活動に取り組める機会が充実しています。		美術教育普及活動を推進するため、ワークショップを開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ワークショップ等開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	30	30	30	30	
	実績	32	41	46		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ワークショップ等参加者数			単位	人
	説明・算定式	短期コース参加者数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	800	800	1000	1200	
	実績	1244	1072	1550		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
ワークショップのメニューに展示会の関連事業を取り入れるなど、46の講座を行った結果、子どもや親子対象の講座はいずれも好評でした。なかでも、「缶バッチづくり体験」講座に355名、「作ってあそぼうわくわくランド」講座に264名、「遊んでのびのび赤ちゃんアート」講座に140名の参加がありました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	メニューによっては非常に多くの参加希望者がいることから、このような市民ニーズに応えるためにもワークショップの充実を図る必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	メニューを充実させるとともに事業を継続していくことが、美術教育の普及・体験に効果的と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	美術教育の普及・体験を図るため子どもから大人まで気軽に美術に触れる機会を提供していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	近隣の若手芸術家や作家本人、大学と連携した講座の開催を進めていきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 未就学児、小中学生・教員向けのワークショップや美術鑑賞プログラムの充実等、ワークショップの魅力を上向きさせる必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		ワークショップ、アートフェスタの開催	キッズアート等のワークショップの開催	キッズアート等のワークショップの開催	赤ちゃんアート等のワークショップの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	400	0	714
	一般財源	1,430	1,339	2,552	1,478
事業費 (A)		1,430	1,739	2,552	2,192
執行率 (%)		87.73	88.77	89.20	
内訳	職員 (人)	1.25	1.15	1.10	1.15
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	10,130	9,218	8,743	8,985
フルコスト (A+B)		11,560	10,957	11,295	11,177

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成27年度の取組方針</b> 未就学児を対象とした子育て支援プログラムやスクールプログラムの充実をめめます。
<b>課長コメント</b> 子育て支援プログラムなどのほか、幅広い年代層が参加体験できるワークショップの充実をめめます。